成人用3種混合ワクチン（Tdap）の説明書
商品名：Boostrix

■予防できる病気

破傷風：筋肉のけいれんを引き起こします。時に呼吸筋がけいれんし窒息します。

ジフテリア：毒素が心臓や神経に作用し、心不全や麻痺を起こします。

百日咳：特有のけいれん性咳発作を特徴とする急性気道感染症です。乳幼児での死亡率が高く、米国では全ての妊婦にワクチン接種を推奨しています。

■流行地域と感染経路

・破傷風菌は世界中の土壌に生息しており、外傷や動物咬傷で感染します。
・百日咳菌も先進国（日本を含む）、途上国に関わらず流行しています。

■診断と治療

・破傷風はもっぱら症状から臨床的に診断します。
・百日咳は、核酸検出（LAMP法）や抗原検査、抗体上昇や培養検査での診断です。
・治療は破傷風ワクチン接種やグロブリン投与、抗菌薬の内服です。

■予防方法

ワクチンを接種する。

■ワクチン接種対象者

・破傷風ワクチン接種後、10年以上経過した方および未接種者全員が対象です。
・1968年以前に生まれた方は破傷風ワクチンの3回接種を推奨します。
・破傷風ワクチン3回接種のうちの1回をTdapにすることをお勧めします。
・米国では出生児の百日咳予防のため妊娠27～36週での接種を推奨しています。

■ワクチンについて

・成人用3種混合ワクチン（Tdapと略す）は輸入国内未承認ワクチンです。
・国内承認3種混合ワクチン（DPTやDTaPと略す）と比べてジフテリアの抗原量を減らしてあります。

	Boostrix（輸入ワクチン）
【製造会社】	GSK（GlaxoSmithkline）
【適応年齢】	10歳以上。
【接種回数】	1回。
【接種方法】	筋肉注射。
【持続期間】	破傷風は10年間。
【追加接種】	10年毎の接種を推奨します。

■副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■注意事項

過去に同ワクチンにアレルギー反応のある方、発熱している方は接種できません。
妊娠・授乳中の方には乳幼児の百日咳予防を考慮し、接種を推奨します。

■健康被害が生じた場合

輸入ワクチンでは輸入代行業者による副作用救済制度を利用できます。
ワクチン接種後に発生した副反応などの症状には適宜対応します。